



村小だより

平成30年9月12日発行

大運動会迫る！村小っ子のやる気・本気・戦う気！乞うご期待！

校長 鈴木 正美

大運動会(15日土曜日)が迫ってきました。気運も最高潮になっています。当日は、どんなドラマがくり広げられるのか。私も大人げなく、「わくわく、ドキドキ」してきましたが、265名の村小っ子が思いっきり活動できる運動会日和になることを切に願っているところです。是非、皆様の念力もお貸しください。

今年のスローガンは「やる気 本気 戦う気 みんな集え松の木へ 村小大運動会2018」です。子どもたちが決めたこのスローガンの下、体育の時間や休み時間等を使って、競技、演技での動き方等の練習や応援練習等を行ってきました。この間、ご家庭での支えや励ましのおかげもあり、子どもたちの意欲も徐々に高まっていることが、全体練習等での態度や言動から強く感じられるようになってきました。感謝申し上げます。

走るのが得意な子もそうでない子も、自分の持ち味を生かし、本気になって競技や演技に、応援や係の仕事等に取り組む姿を、私たち教職員は期待しています。その中で、「自分はがんばったぞ。仲間と協力して精一杯取り組んだぞ。」という成就感、達成感、満足感を十分味わってほしいと願っています。そして、ご家族の皆様と同様に、私たちもその様子をとらえ、心から称えたいと思っています。

当日は、多くの皆様からご来校いただき、村小っ子の「やる気・本気・戦う気」を肌で感じていただけたら幸いです。お待ちしております。

<始業式の校長講話から> (抜粋)

夏休み中に大きな事故やけがをした人が一人もいませんでした。きっと、「かけがえのない自分の命、みんなの命を大切にするため、きまりよく、安全に気を付けて生活すること」を皆さん一人一人や家族や地域みんなで心がけたおかげだと思っています。大変嬉しく思います。

また、休み中、ラジオ体操、七夕祭り、納涼祭など、家族や町内の方々と一緒にあって、がんばっている皆さんの様子も数多く見ることができました。きっと、それぞれが夏休みならではの体験や経験を積んで、「楽しい思い出、がんばった思い出いっぱい夏休み」になったのだろうなあとと思っています。これも嬉しいことです。

さて、今日から始まる2学期の授業日は81日です。その中には「運動会」や「文化祭」など、大きな学校行事も計画されています。自分一人で黙々とがんばること、学級や学年のみんなと気持ちを揃えてがんばることがありますが、それらを通して、全校のみんなが、今、自分に身に付いている様々な力をレベルアップさせてほしいと思っています。……(略)

最後に、2学期も、あいさつをがんばりましょう。まだ上手くできないという人は、「恥ずかしいから、あいさつができない。」ではなくて、「あいさつができないのは、恥ずかしいことだ。」と考え方を変えて取り組みましょう。みんなですることが大事です。

